

経営学部

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

経営学部マネジメント総合学科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき、アントレプレナーシップ（企業家精神）を有し、経営学固有の視点から地域や国際社会の発展に貢献できる人物を育成します。本学で学んだ学生がこのような人間に成長したことを、以下の資質・能力を身につけたかという視点で評価し、各学部・学科の学位授与方針に従って卒業を認定し、学士の学位を授与します。

1. 学問における学びを通じて、思考力・判断力を高めるとともに、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
2. 大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
3. 「経営管理論」「会計学」「商学」「経営工学」「経営情報学」に関する基礎を身につけ、それらを統合する組織運営に関する学びと、教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）】

経営学部マネジメント総合学科は、建学の精神「学問による人間形成」に基づき定めたディプロマ・ポリシーに示す学修目標に、全ての学生が到達するように、以下の方針でカリキュラムを構築します。

1. 人間形成の過程で必要となる学びを提供するために、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探究する姿勢、人類文化社会へ貢献するための意識を養うという視点で全学共通カリキュラムを策定し、そのために必要な全学部共通科目を含む必修科目を学生の段階的な成長を促すように設定する。その評価は自己評価を基本とし、長期型ルーブリック*を用いた評価をポートフォリオ*に蓄積して学生自身による振り返りを促すとともに、教員による学びの促進を意図した形成的評価を随時実施する。

*長期型ルーブリック：ルーブリックは、学習目標の達成段階を質として表した表で、長期型ルーブリックは、入学から卒業までの成長を継続的に評価するのに有効なツールです。

2. “協創”による社会問題の解決に取り組むための、「課題解決型授業」、「学内外連携授業」などを必修科目として設定し、系統的にカリキュラムに組み込む。その評価にはルーブ

リックを用いた自己評価・ピア評価を含めた多様な視点を取り入れ、学習の成果物はポートフォリオ*に蓄積して、自身の振り返りを促す。英語力については、大学共通基本科目である「コミュニケーション基礎英語」において、習熟度別のクラス編成を実施して、個人のレベルに合った学習を可能にする。

*ポートフォリオ：学習成果物を時系列に沿って蓄積していったファイルで、学生の段階的な成長を確認するために有効なツールです。

3. 経営学部マネジメント総合学科において求める専門性（経営管理論，会計学，商学，経営工学，経営情報学）と教養を獲得するという視点でカリキュラムを策定し、人間形成につながる学問の基礎を培う。更に「企業ビジネスマネジメント」「地域コミュニティマネジメント」「健康スポーツマネジメント」の3コースを設定し、学生の学修目標に沿った順次性のある体系的な学びを実現する。各科目の評価には、期末に記述式試験を実施するだけで合否判定するのではなく、各科目の特性に合わせて、合否の判定を伴う総括的評価を実施する。その成果についてはGPAを用いて学生に対してフィードバックを行う。

【アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）】

経営学部マネジメント総合学科では、自身の発見や自身を大きく成長させるために必要な学びを提供し、物事を多角的に捉える力、社会と学問との接点を探究する姿勢、社会貢献への意識を養う教育を行います。そのため以下の資質・能力もしくは志向を有する人に入学を期待します。

1. 多様な事象に興味を持ち、人々の暮らしにおける課題・ニーズは何かという視点を持って、社会のルールに従って、責任感を持って行動し、自己の理想に向かって学ぶ意思を有する人
2. 他者との対話を通して自らを高め、他者と協力して社会の課題に取り組む意思を有する人
3. 自らが学ぼうとする経営学部マネジメント総合学科における専門的な学びを修め、教養を高める意欲があり、そのために必要な英語、国語、数学、社会科の学習に取り組んでいる人

上記の経営学部マネジメント総合学科のアドミッション・ポリシーに基づき、多様な形態の入学試験によって、学力の三要素、すなわち、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」などの資質・能力を評価し、経営学部マネジメント総合学科の教育目的に相応しい人材を選抜します。

学校推薦型選抜

本学が定める推薦基準を満たし、高等学校長から推薦される人を対象に、書類審査（出願書

類)、面接・口頭試問により、資質・能力を評価・審査します。

総合型選抜

書類審査（出願書類）、面接・口頭試問、プレゼンテーション、基礎学力検査、小論文などにより、資質・能力を総合的、多面的に評価・審査します。

一般選抜

本学独自の学力検査と書類審査（出願書類）により、知識・能力を評価・審査します。学力検査では、志望する学部・学科へ入学した後の学習に必要な学力および理解力・応用力を評価します。

一般選抜 大学入学共通テスト利用選抜

大学入学共通テストと書類審査（出願書類）により、知識・能力を評価・審査します。本学独自の学力検査は行いません。大学入学共通テストの結果により、志望する学部・学科へ入学した後の学習に必要な学力および理解力・応用力を評価します。

編入学試験

多様な入学経路を確保し、優秀な人材を受け入れるための制度です。他大学、短期大学または高等専門学校を卒業した人（学士入学・編入学試験）、他大学に在籍中の人（転入学試験）を対象とします。書類審査（出願書類）、本学独自の学力検査、面接・口頭試問により、資質・能力を評価・審査します。

外国人留学生入学試験

外国人留学生を対象とし、国際的に活躍しうる有為な人材を募ることを目的とした入試制度です。書類審査（出願書類）、本学独自の学力検査または日本語能力試験、日本留学試験、面接・口頭試問により資質・能力を評価・審査します。

（2027年4月入学者用）